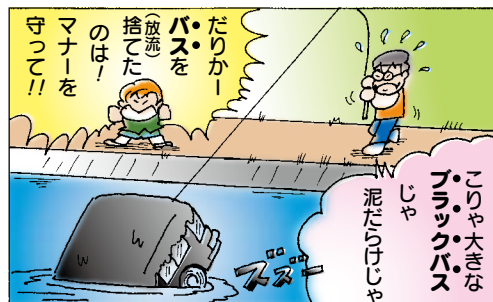
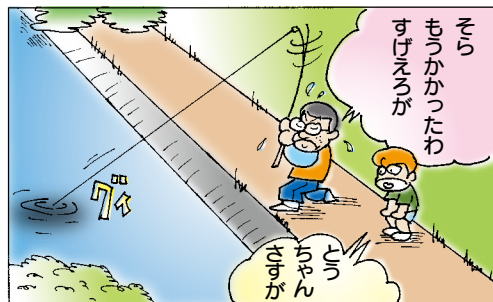
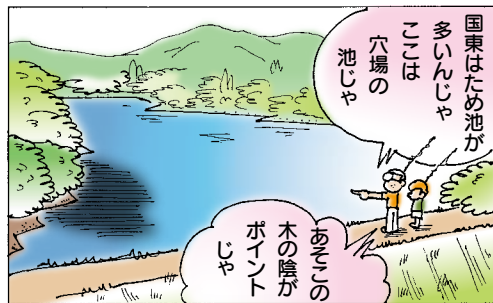


新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.50



くにさきの文化財

国東町北江「番所ヶ鼻古墳」

市指定史跡

国東町北江の海岸段丘上に所在するこの古墳は、古墳時代の前半から中ごろに築かれた全長約33mの前方後円墳と目されています。古墳は、単に古代の有力者の「墓」ではなく、それを仰ぐ地域の人びとと、競合を繰り広げる近隣の勢力などに、自らの威信を誇示するモノメントでした。

社会の中に格差ができ、人と人との序列が複雑になってくると、それを安定させ、維持するための仕組みが必要となりました。地方の首長は、できるだけ多くの鉄や先進的文物を地元にもたらし、人びとの不利益を解消するかわりに、自らの地位を保証し、威信を演出・顕彰する古墳を築きました。

列島内が文字社会に移行すると、社会の安定・維持は、古墳によってではなく、文字を用いた制度や法典によって行われるようになり、やがて国家が誕生しました。番所ヶ鼻古墳は、今ではひっそりと瀬戸内海の船舶を見守るように、北江海岸の段丘上に立地しています。

※番所ヶ鼻古墳は部分的に欠損しているため不明な点も多く、古墳としての位置づけが定まっていません。今後の確認調査が期待されています。

問い合わせ 国東市歴史体験学習館 ☎0978-17212677



反射タスキの贈呈式

4月14日(水)、国東警察署で国東市内の新中学一年生295人に「反射タスキ」が贈呈されました。農木寿郎署長と諸富忠県交通安全協会国東支部長から、新一年生代表の猪俣大輝さん(国東中)にタスキを贈呈。猪俣さんは「登下校の際にはタスキをきちんと着用し交通安全に努めます」とお礼を述べました。



▲(左から) 諸富県交通安全協会国東支部長、有定教育次長、猪俣さん、生徒指導担当の石丸先生、農木国東警察署長。